年間授業計画　新様式例

高等学校 令和5年度（１学年用） 教科　国語　科目 言語文化

教　科：　国語　　科　目：　言語文化　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１学年　１組～　８組

教科担当者：（１～８組：高畑）　（１～８組：戸舘）　（１～４組：松岡）　（５～８組：神田）

使用教科書：（ 言語文化　大修館書店　　）

教科　国語　　の目標：

【知識及び技能】　生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】　言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目　言語文化　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 「児のそら寝」宇治拾遺物語 【知識及び技能】 歴史的仮名遣いに慣れる。 【思考力、判断力、表現力等】 物語の展開を捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に音読をする。	・歴史的仮名遣い ・本文の読解 ・言語文化（大修館書店） ・トータルサポート国語便覧（大修館書店） ・一人１台端末	○		○	・歴史的仮名遣いを正確に読むことができる。 ・品詞や文節について理解し、重要古語の意味を把握している。 ・笑話としてのおもしろさを理解している。 ・古文に親しもうとしている。	○	○	○	4
	B 動詞の活用（四段・上二段・下二段） 【知識及び技能】 動詞の活用について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 本文中の動詞がどのように活用しているか把握できる。 【学びに向かう力、人間性等】 問題に対して真摯に取り組んでいる。	・動詞の活用（四段・上二段・下二段） ・言語文化（大修館書店） ・トータルサポート国語便覧（大修館書店） ・一人１台端末			○	・品詞や文節について理解し、重要古語の意味を把握している。 ・動詞の活用について理解し、本文の中で適宜確認することができる。 ・教材に興味を持って意欲的に学習に取り組んでいる。	○	○	○	4
	定期考査						○	○		1
	C「絵仏師良秀」宇治拾遺物語 【知識及び技能】 動詞について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 良秀の人物像をとらえる。 【学びに向かう力、人間性等】 この話の結末について話し合い意見を深める。	・動詞の活用（上一段・下一段・変格活用） ・本文の読解 ・言語文化（大修館書店） ・トータルサポート国語便覧（大修館書店） ・一人１台端末	○		○	・歴史的仮名遣いを正確に読むことができる。 ・用言について理解し、適宜活用形を直して、重要語句を調べることができる。 ・良秀の行動と理由を理解し、人物像についてまとめることができる。 ・古文に親しもうとしている。	○	○	○	12
	D 『羅生門』 【知識及び技能】 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使う。 読書の意義と効用について理解を深める 【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に意欲的に関わろうとする態度を養う。	・漢字の読み書き ・登場人物の心情をとらえる。 ・本文の読解 ・言語文化（大修館書店） ・トータルサポート国語便覧（大修館書店） ・一人１台端末		○	○	・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 ・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	○	○	○	12
	定期考査						○	○		1
2学期	D 「芥川」伊勢物語 【知識及び技能】 助動詞について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 「白玉か」の歌意を読み取り、男の心情を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 前段と後段の差異を協同分析する。	・助動詞 ・本文の読解 ・言語文化（大修館書店） ・トータルサポート国語便覧（大修館書店） ・一人１台端末	○		○	・古典を読むために必要な文語のきまりや表現について理解し、物語の世界をより深く味わっている。 ・歌物語について理解し、話の展開や登場人物の心情を叙述にもとづいて正確に捉えている。 ・物語の背景にある文化的要素や表現技巧について理解し、関心を持とうとしている。	○	○	○	13
	E 「あこがれ」更級日記 【知識及び技能】 助動詞について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 作者の「源氏物語」への強い憧れと京への旅の概念を結び付けて解釈できるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 時代による旅の違いについて理解しようとする。	・助動詞 ・文学史（日記文学） ・本文の読解 ・言語文化（大修館書店） ・トータルサポート国語便覧（大修館書店） ・一人１台端末	○		○	・更級日記の内容や作者、成立背景を正確に把握し、文学史的な意義について正確に理解している。 ・作者の「源氏物語」への強い憧れを読み取り、「京」への旅の価値と結び付けて解釈している。 ・旅の系譜について関心をもち、ほかの作品の旅と比較する視点をもって読んでいる。	○	○	○	11
3学期	F「蛇足」戦国策 【知識及び技能】 本文を音読し、訓読のリズムに慣れる。 【思考力、判断力、表現力等】 話の展開を理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 故事成語が身の回りで使われていることに興味をもち、日常で使う言葉を見つめなおそうとしている。	・本文の読解 ・返り点や置き字等漢文の基礎 ・言語文化（大修館書店） ・トータルサポート国語便覧（大修館書店） ・一人１台端末		○	○	・故事成語の成り立ちと日本で用いられてきた文化的な背景について、身近な例を挙げながら考えを深められる。 ・本文全体を正確に理解し、込められた寓意について三塚らの考えを深めている。 ・故事が日本の言語文化に与えた影響について考えようとしている。	○	○	○	9
	F 『城の崎にて』 【知識及び技能】 語感を磨き、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 主人公の心情の変化を、動物や自然との関わりから理解しようとしている。	・本文の読解 ・漢字の読み書き ・言語文化（大修館書店） ・トータルサポート国語便覧（大修館書店） ・一人１台端末		○	○	・言語文化及び我が国の文化的背景について理解を深め、文章の中で特徴的な語句を使うことをとおして、語幹を磨き、語彙を豊かにしている。 ・作品の内容や解釈をふまえ、自分のものの味方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化についての自分の考えをもっている。 ・作品に興味をもち、主人公の心情の変化を、動物や自然との関わりから理解しようとしている。	○	○	○	12 合計 79